

山梨県歯科医師連盟

連盟ニュース 第62号

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手 1-4-1

TEL : 055-252-6481 FAX : 055-253-0854

□発行人 諸角三千夫 HP : <http://ydpf.jp>

□編集人 諸角三千夫 馬場 康二

山梨県歯科医師連盟機関紙

○後日、自由民主党のポスター2種類を郵送いたしますので、診療室等(目立つ所)に掲示をお願いいたします。

2019年度関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会

2019年5月30日(木)今年度当番県である神奈川県歯科医師連盟主催連絡協議会が横浜ベイシエラトンホテルにおいて開催されました。本県より諸角会長、一瀬副会長、篠原理事長、鶴田副理事長が参加しました。

今回、平成から令和に改元されたはじめての協議会でありました。

まず開会次第に従い神奈川県歯科医師連盟 小澤操副会長の開会の辞、さらに神奈川県歯科医師連盟 鶴岡裕亮会長、神奈川県歯科医師会 鈴木駿介会長、日本歯科医師連盟 高橋英登会長の挨拶後、座長に鶴岡会長、副会長に埼玉県歯科医師連盟 飼馬直樹会長を選出し、報告と協議会がはじまりました。

今回の協議テーマ第25回参議院議員選挙への対応となつみの会における後援活動の取り組み方について各都県より発表がありました。

第25回参議院議員通常比例代表選挙は既に職域代表候補として決定していた候補の急な辞退を受け4月4日に開催された、関東地域歯科医師連盟会長理事長会議において、沖縄県会員の前衆議院議員 **ひが なつみ氏** を準組織代表で関東ブロックとして擁立推薦することが決定しました。

日本歯科医師連盟は今回の選挙には一連の裁判の判決を受け日本歯科医師連盟主体の選挙活動はできないため、側面支援による活動で協力したいと言うが具体的な発言はありませんでした。

今回決定した **ひが なつみ氏** については、一般会員にとっては知名度が低く、いかに氏の人柄や政策を理解していただくか非常に厳しい状況にあるため各都県においては、選挙までの時間が短いため対応に苦慮しています。

しかしながら、各都県においては政治活動、選挙活動に関わる法律を順守し連盟役員一人一人が緊張感を持ちつつ、一人5票の獲得を徹底して活動し、展開する事など具体的な取り組みが必要です。故に一致団結し第25回参議院議員通常選挙に勝利する事を願いました。本来なら、今回の協議会としての要望書を作成し日本歯科医師連盟に対し各都県会長名にて要望書を提出する事になっているが、鶴岡座長より今回の参議院議員選挙後に要望書を提出する事で一致しました。

最後に神奈川県歯科医師連盟副会長 徳永實司氏による閉会の挨拶で終了しました。

令和元年度 第1回山梨県歯科医師連盟評議員会開催

令和元年5月28日(火)午後7時より、県歯会館にて標記評議員会が開催されました。篠原理事長より平成30年12月12日から平成31年4月25日までの事業報告がありました。

[国政選挙に対する対応] 第25回参議院議員通常選挙(令和元年7月施行予定)

ひが なつみ氏 推薦決定(比例代表)
森屋 ひろし氏 推薦決定(山梨選挙区)

[日歯連盟関係報告] 3月8日に都道府県会長会議、3月29日に評議員会が行われ、主に裁判のことと選挙のことについて協議されました。裁判は3月5日に控訴審の判決があり、結果は控訴棄却となり敗訴になりました。高木前会長は最高裁に上告する予定で、日歯連盟としては上告を断念し、これにより日歯連盟としての裁判は終了しました。

選挙については、7月の参議院選挙に関して、比嘉奈津美先生が43都道府県の推薦を受け、4月24日には正式に自民党の公認候補となりました。日歯連盟は裁判があったため、組織をあげての従来の選挙はせず、側面支援していくと説明がありました。5月30日に関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会(関プロ)があるが、参議院選挙をどう戦っていくかが協議される予定です。

[議事] 第1号議案『平成30年度山梨県歯科医師連盟収入・支出決算の承認を求める件』、第2号議案『山梨県歯科医師連盟選挙管理委員会の選出議決を求める件』、第3号議案『山梨県歯科医師連盟相談役の承認を求める件』が協議され、全会一致で承認されました。